



# おおあらい

Vol.370



元気に笑って無病息災（敬老会）



祝・長寿楽しくすごした敬老会 .....	P. 2
原子力防災訓練を実施 .....	P. 4

**Index**

わが町トピックス .....	P. 6
みんなのひろば .....	P. 8
町のわだい .....	P.10
くらしの情報 .....	P.12



# 祝・長寿

## 楽しくすごした敬老会



水戸黄門や暴れん坊將軍の  
テーマなどおなじみの曲も

9月15日（敬老の日）に大洗文化センターで恒例の敬老会が開催されました。  
74歳以上の方々2,371名が今年めでたく敬老の日を迎えられ、式典では、「米寿」44名を代表して雨澤ちかさんに「金婚」21組を代表して内山健造・いと御夫妻に小谷町長から褒状と記念品が贈られました。

式典終了後の芸能発表では、祭はやし大洗・大洗町漁業協同組合・大洗ひよつとこ愛好会のおはやしや千寿会の大漁まつり唄、フラダンスクラブによるダンス、大洗高校マーチングバンドブルーホークスの寸劇を交えた迫力ある演奏に会場から声援や拍手がおくられ、盛大で楽しい敬老会となりました。

ささげ  
颯爽と大漁まつり唄



# 東

番付	町区	氏名	年齢
横網	二丁目3	根	よん
張出横網	ひめま苑	司	ん
大張出大関	角一2の2	水	後
大張出大関	舟渡2の1	瀬	知
小張出小結	髭釜11の1	地	サ
前	祝町1	淵	俊
	明神町8の3	松	き
	下宿	小	つ
	永町5	野	け
	金沢町1	小	へ
	永町5	飛	子
	新町12	鹿	い
	蔵前1	大	つ
	寺釜10	海	吉
	松川共励	佐	力
	永町2	伊	衛
	蔵前2	小	つ
	ひめま苑	栗	郎
	ひめま苑	岡	ヨ
	祝町1	新	子
	寺釜12	飛	ノ
	二丁目10の2	小	る
	上宿3	今	彦
	上宿2	田	え
	二丁目10の1	中	な
	金沢町1	黒	子
	ひめま苑	坂	吉
	祝町5	中	雄
	新町8	石	し
	永町1	田	さ
	永町12	渡	は
	蔵前4	岡	八
	上宿1	小	吉
	桜道8	高	つ
	寺釜7	永	董
	髭釜10の1	酒	継
	中宿	谷	衛
	東光台3	高	郎
	蔵前1	磯	輔
	通町2	松	つ
	永町4	高	よ
	ひめま苑	望	治
	寺釜9	小	く
	明神町7	岡	ヨ
	髭釜町8	吉	し
	永町5	武	さん
	北清水1	岡	ね
	一丁目1の下	海	行
	金沢町2	皆	子
	永町7	栗	で
	蔵前1	大	よ
	浜欠	岡	る
	桜道6	田	武
	金沢町4	今	ミ
	松川共励	磯	ガ
	松ヶ丘1	高	の
	上宿	石	と
	一丁目1の下	大	め
	ひめま苑	竹	シ
	富士見台	岡	ト
	金沢町3	小	る
	明神町2	荻	子
	中宿2	薄	の
	永町14	櫻	り
	永町5		る

長寿のみなさん  
おめでとうございます

平成14年度大洗長寿番付  
明治32年、明治45年3月31日生の方  
勸進元 大洗町  
年齢は9月19日現在

# 西

番付	町区	氏名	年齢
横網	角一2の2	安	し
張出横網	新町9の1	石	ね
大張出大関	蔵前3	田	助
大張出大関	二丁目2	中	之
小張出小結	北清水2	鈴	吉
前	祝町3	田	清
	新町7の2	戸	よ
	ひめま苑	荒	い
	金沢町4	坂	代
	永町5	寺	み
	荒谷	関	介
	上宿3	田	吉
	明神町9	佐	よ
	上宿3	武	て
	古宿	田	ノ
	ひめま苑	杉	イ
	松川報国	小	よ
	二丁目3	三	壽
	松川第二	大	一
	金沢町5	廣	つ
	明神町10	横	り
	蔵前1	須	み
	ひめま苑	萩	や
	新町12	有	き
	北清水2	岡	み
	仲町3	小	留
	金沢町4	岡	真
	神山	皆	幸
	永町8	井	資
	桜道7	内	た
	ひめま苑	雨	ま
	桜道3	篠	政
	東光台1	飯	き
	中宿1	平	ハ
	南清水2	雲	ア
	川口	大	ナ
	金沢町1	齋	コ
	永町10	市	ツ
	永町2	飛	を
	古宿	杉	て
	新町6の1	栗	男
	北清水2	鈴	枝
	角一3の1	和	ダ
	蔵前1	山	ミ
	東光台2	山	郎
	髭釜町4	飛	の
	永町15の1	檜	り
	蔵前2	小	子
	新町5の1	茂	に
	明神町5	松	急
	仲町2	小	み
	永町14	小	枝
	蔵前1	佐	子
	古宿	清	よ
	蔵前2	川	き
	富士見台	大	ま
	一丁目2	石	ら
	東光台2	岡	あ
	ひめま苑	二	き
	舟渡2の3	豊	幹
	五反田2の1	平	キ
	舟渡2の1	西	正
	祝町2の2	榎	ヨ
	富士見台	須	日
	角一2の1	小	あ

# 原子力防災訓練を実施

## すばやく正確な情報、安全確保のための総点検

原子力施設等の災害発生時には、防災業務関係者が、周辺住民の安全を確保するため、それぞれの役割を的確に果たさなければなりません。

原子力災害時における国、県、原子力オフサイトセンター、原子力事業所および関係市町村の応急対策が迅速かつ確実に行われるようにするため、また防災業務関係者の対応能力を向上させることを目的に9月30日、平成14年度茨城県原子力防災訓練が行われました。

### 訓練の想定

今回の訓練では、核燃料サイクル開発機構大洗工学センター高速実験炉「常陽」において、原子炉運転中に停電し燃料冷却用ポンプなどが故障して、放射性物質が事業所の敷地外に放出される可能性があるとの事態を想定。住民の皆さんの避難を含んだ訓練を行いました。



災害対策本部では屋内退避や避難等本番さながらに検討が行われました

町民の皆さんに向けて  
防災無線による放送



係員の誘導に従ってバスに乗り込む住民の皆さん（涸沼駅）



避難所では、事故状況や避難の際の注意点などの説明が行われました

# 知っておきたい 基礎知識

原子力災害は他の災害と違って、私たちの五感に感じることができないため、事故の状況やそれに伴う対処方法を判断するためには、放射線などに関する知識が必要となります。

## 事故を知ったら

原子力施設での事故で怖いのは、放射性物質と放射線です。これは事故発生場所との距離や風向きなどの状況によって防ぐ方法は異なります。

「いつ、どこで、どんな事故が発生したか」を防災無線やテレビ、ラジオなどで正しい情報を得ることが大切です。

## 屋内退避する場合

屋外にいた場合、放射性物質の吸入や付着を防ぐため、ハンカチや布などで口や鼻を覆うとともに肌をできるだけ外気にふれないようにしましょう。外に居続けることは避けすばやく建物の中に退避しましょう。

屋内では、窓やドアなどを閉め、換気扇などを切り、外気の流入を防ぐ必要があります。屋内に入ったときには、外気にふれていた所を洗い、着ていた衣服は着替えます。このとき着替えたものはビニール袋に入れて保管します。

## 避難する場合

退避、避難は、「放射線の遮るコンクリートの建物に入る」「できるだけ遠くに逃げる」が基本です。

2〜3日の着替えと貴重品、筆記用具、ビニール袋、携帯ラジオなど避難用具を口頃から用意しておくことも重要です。パニックを避け、協力して迅速に行動することが求められます。

帽子

長そでの衣服

長ズボン

なるべく肌を露出しないように  
しましょう

### 自分でできる被ばく予防ポイント

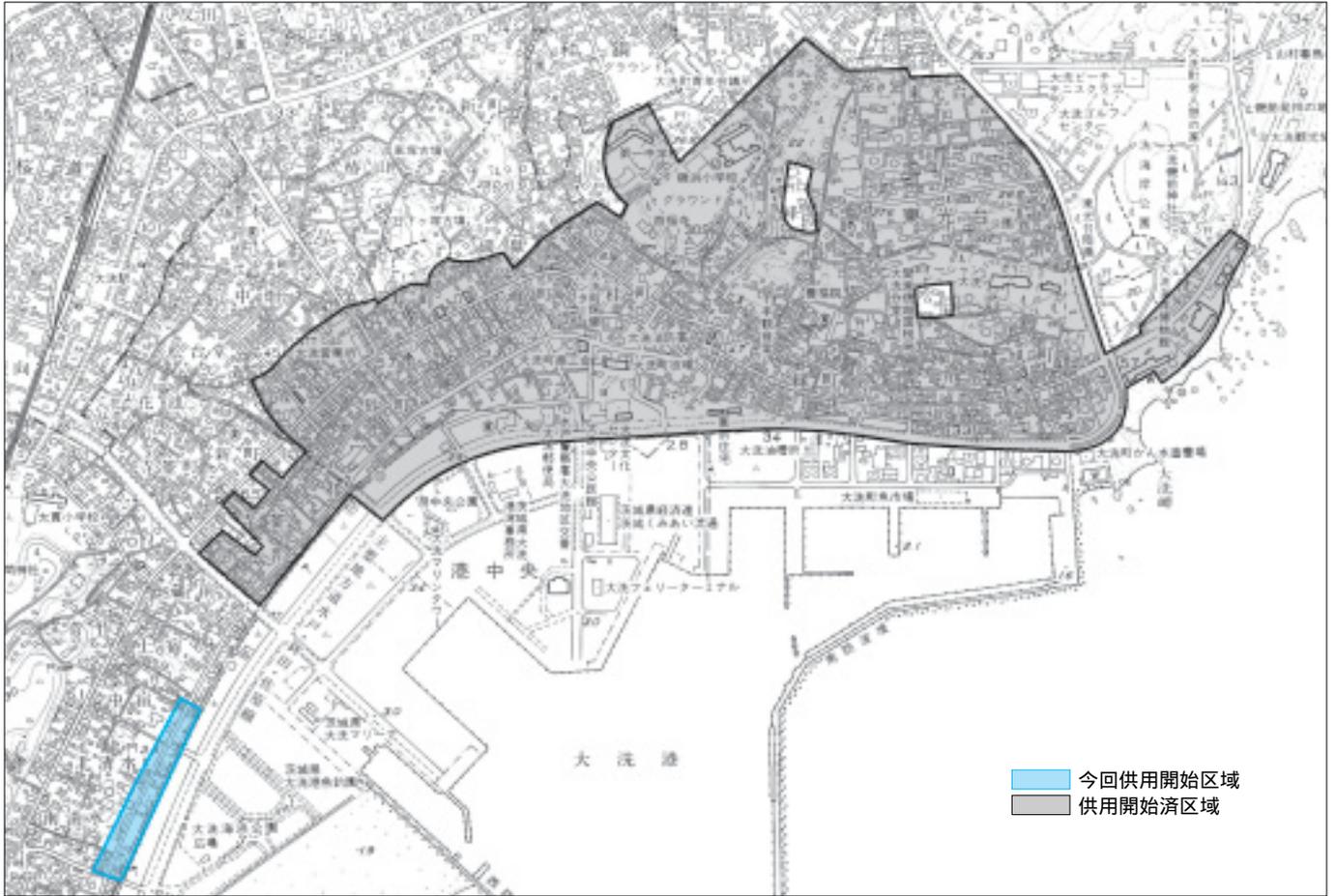
- \*口や鼻を布で覆い地肌を隠す
- \*風向きに注意し建物内に逃げる
- \*窓を閉め換気扉を切る
- \*手や髪を洗い衣服を着替える
- \*着替えを持って集合場所へ
- \*避難所で汚染検査を受ける

## 訓練により課題も浮き彫りに

今回の訓練では、実際の原子力事故が起きた場合の対応への不安の声もありました。町では、このようなご意見をふまえ、国、県、関係事業所などと連携し、万が一の事故に備え、安全確保のための検討を進めていきます。

### 【主なご意見】

- 放送が聞き取りにくい
- 屋内退避時に窓を閉めることや避難時の注意点など詳細な説明がなかった
- 避難所での説明が原子力特有の専門用語が多く、わかりにくい
- 高齢者など歩いて避難できない人への配慮がなかった



## 自然を守る

### 下水道整備

下水道は、海や川の自然環境を守り、快適で衛生的な生活のためには不可欠な施設で、一度整備されれば、永年にわたってその役割を果たします。日本の近代下水道発祥の地である東京・神田では、120年前の下水道施設が今でも活用されています。住みよい街づくりのためには、公共下水道は世代を超えて利用される大切な社会資本です。町は、この下水道整備を積極的に進めています。公共下水道について皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 公共下水道に接続しましょう

10月からは、上図の区域の下水道が整備され、供用開始となりました。下水道が供用開始された区域の皆様は3年以内にトイレを水洗化し、生活排水を下水道に接続しなければなりません。新しいことになっています。

下水道処理区域内でまだ下水道に接続していない方は、公共水域の水質保全と環境衛生の向上という下水道整備の目的を十分ご理解いただき、早期接続をお願いします。

### 下水道排水設備工事

大洗町の下水道は家庭や事業所の污水のみを処理する「分流式」という方式の下水道で、下水幹線はひたちなか市にある那珂久慈浄化センターまでつながっており、そこで污水は浄化され海に放流されます。この下水本管に接続するためには、家庭等の污水を直接、下水道に流すための污水管や污水ますなどを整備していただく必要があります。この工事が「排水設備工事」です。

町では排水設備が適正に施工されるよう「排水設備指定工事店」制度を定めていますので、下水道に接続する場合には、工事費用の見積なども含めて最寄りの排水設備指定工事店（町内の水道工事指定店等が指定を受けています。）にお気軽にご相談下さい。

なお、公共下水道の普及のために、下水道の供用開始から3年以内に排水設備の工事をされた方には町から次のように補助金を交付します。（ただし、新築及び事業所は除く。）

- 1年以内 15,000円
- 2年以内 10,000円
- 3年以内 5,000円

問合せ / 上下水道課管理係

（内線271）



## ハンセン病に正しい理解を 街頭啓発活動

8月25日(日)八朔祭歩行者天国  
内でハンセン病を正しく理解するた  
めの街頭啓発活動が行われました。  
町の人権擁護委員が八朔祭に訪れ  
た約200名にリーフレットや啓蒙  
物品を配布し、「ハンセン病は遺伝病  
ではなく、完治する病気です。偏見  
や差別をなくしましょう。」と正しい  
理解の大切さを呼びかけました。



### 随 想

## 体験が育む輝く人

大洗町長 小谷隆亮

8月27日、町内の小学6年生が期待に胸を膨らませ、大洗港から海を隔てた隣町、北海道に旅立ちました。子供たちの貴重な体験となるであろう北海道洋上体験学習の始まりです。

参加した子供たちの感想文を見るとハイキングでの広く雄大な北海道の美しい自然とのふれあいやジャガイモを掘って自分で作ったバターをつけて食べたとてもおいしかったこと、違う学校の友達ができたこと、家族と5日間も離れる不安とわくわくした気持ち、身支度や起床など自分でしたことの大変さ、家族の大切さ、限られた小遣いの中でお土産を買うのに1時間も悩んだこと、学校では交流することのない高校生たちとの新鮮な時間、バスの運転手やバスガイド、研修を支えた大人たちへの感謝の気持ちなどがほほえましくつづられていました。

フェリーターミナルで出迎えた子どもたちは、皆たくましく輝いており、北海道での充実した日々を物語っていました。小学校6年生は何事も自分で考えて判断し行動することが求められる年頃に入り、他人を思いやること、お互いに助け合うこと、責任を持ってやりとげることの大切さやすばらしさをこの体験により学んだことは、子どもたちにとって大きな宝となり、これからの人生において大きな自信と心の支えとなっていくでしょう。

今回の体験学習は、町内の全6年生を対象にスタートいたしました。このような取り組みを重ねることにより、わが町の目標である輝く人づくりが実現し、町の明るい未来が開けていくものと確信いたしております。

## ご存じですか 行政相談委員

毎日の暮らしの中で役所の仕事についての苦情や意見・ご要望はありませんか

「役所に相談したいが、どこの窓口に行けばよいかわからない。」

「役所に苦情を言いたいけど直接窓口に行いたくない。」

「苦情を申し出たがその措置に納得できない。」

こんな時は、行政相談委員にご相談ください。

行政相談委員は、役所・NTT・公庫・公団などが行っている仕事についての苦情など受け付け、中立・公平な立場で相談者の方への助言や関係機関に相談の内容を連絡することなどにより、問題解決を促進する仕事をしています。

大洗町の行政相談委員は、山崎正きよしさんです。自宅や特設相談所などで常時相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

相談は無料で秘密は厳守されます。

### 大洗町担当行政相談委員

氏名 山崎きよし正さん  
住所 磯浜町2315-13  
電話 ☎267-4833

### 特設行政相談所を 開設いたします

日時 10月24日(木)  
10:00~12:00

場所 役場3階大会議室  
問合せ 町長公室

☎267-5111  
(内線212)